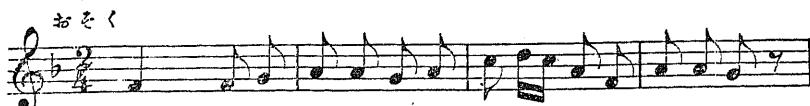


金魚のひるね



金魚のひるね

大阪市金蘭會高女教官

振附 久保富次郎

この唱歌遊技を教へるにはまづ

甲、豫備教授として次の教授をしてほしい。

(イ)金魚の御馳走は何であるか。

(ロ)幼兒の構成的想像の満足として

赤いあべゝのこと……

晝寝のことなどの取扱に注意すること

(ハ)両手を側舉して動して金魚の泳ぐ状の動作の練習

(コ)両手を側舉して動しながら左に一廻する練習

(ハ)両手を前からあげて側下する練習

乙、解説

一、隊形は隨意

第一圖



第二圖



第三圖



第四圖



第五圖



第六圖



第七圖



第八圖



第九圖



あ、……第一圖の如く左手を肘から上にまげ右手を肩平に横にあげると共に、右足を後にあげて左足にてかるくとんで調子をとる、

(金魚の泳ぐさま)

かい、……第二圖の如く前の反対の動作をする
べ、きた、「あ、かい」と同じ

可愛い、……第三圖の如く両手胸にする

金魚、……第四圖の如く、兩人差指にて右下を指す。

あめ、を、……第五圖の如く左足をひいて蹲き右

手、次に左手にて目をこする。
さませば、「あめ、を」と同じ

ごちさう、……立つて第六圖の如く左掌を上向にして胸前にあげ、その上に右手をつまみてのせる

するぞ、……第七圖の如く前の姿勢より右手を前下になげて手を開く(麩を投げる状)

二、赤い金魚は、「1」の「赤いべ、きた」の動作をしながら第八圖の如く右に一廻して正面に復する。

あぶくを、……口の前にて拍手一つ

ひとつ、……右食指を立て、胸前にだす

ひるね、……第九圖の如く左足をひきて蹲きてう

とくとねるさま。

うとくゆめから、……第九圖の如き姿勢を保つ
さめた、……両手を前から上にあげて兩横に下し
て立つ。

一、注意、(1)動作は技巧なく、極めて自然に。

(2)運動を大きく、元氣よく。